

令和6年度 公益財団法人鳥取県東部環境管理公社 事業計画

1. 基本方針

我が国では、地球環境の保全について気候変動をはじめとする環境の悪化が危機的状況にあり、環境問題の枠にとどまらず、経済・社会にも大きな影響を与える問題として認識されています。

さらに、直面する数々の社会課題に対し、炭素中立・循環経済・自然再興の同時達成に向け、地域循環共生圏の構築等により統合的に取組を推進することを通じて、持続可能な新たな成長を実現し、将来にわたる質の高い生活の確保を目指しています。

世界では、2022年11月エジプトで開催されたCOP27において気候変動に関する国際的な議論を、2022年12月カナダでのCOP15においては生物多様性について議論されました。さらに我が国でも2023年4月G7札幌にて気候・エネルギー・環境大臣会合が開催され、脱炭素、循環経済、自然再興経済を統合的に推進し、これらの対策の相互効果（シナジー）を追求することで、気候変動、生物多様性の損失、汚染の3つの世界的危機に加えて、エネルギー危機、食糧安全保障、経済影響、健康への脅威にも対処することを確認しました。

今後、地域循環共生圏の更なる進展と、地域とライフスタイルから持続可能な経済社会を目指し、国・自治体・企業・団体・消費者との連携による足並みやタイミングを揃えた「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る取組」を展開していくことが求められます。

当公社は、設立して27年目を迎えます。引き続き、鳥取県東部圏域の環境衛生の安定と圏域住民の安全で安心な暮らしを支えるため全力で取り組んでまいります。

令和6年度は、リファーレンいなば、因幡霊場、白兔グラウンドゴルフ場の3施設が、鳥取県東部広域行政管理組合から引き続き指定管理者として指定を受けることとなります。また、環境クリーンセンターは、一部受託業務として従来どおりの管理運営を行います。これらの指定管理業務及び受託業務について、公益財団法人として今日までに積み上げた実績と貴重な経験を基に、新たな目標を設定し、より効率的で適正な管理運営業務の推進と更なる体質強化を図り、信頼される公社づくりを目指すものとします。

また、鳥取県東部広域行政管理組合及び関係市町、さらには地元の企業ならびに教育機関との連携を密にするとともに、公益性を保持し、より柔軟性に富んだ住民サービスの提供と効率的な運営を図るよう努めてまいります。

2. 公益目的事業

I リファーレンいなば事業（公益目的事業1）

「ごみの少ないライフスタイルを考えよう！」のキャッチフレーズを掲げ、鳥取県東部圏域内の情報発信の場として、人々の日常生活の中から、ごみ発生の原因を追求し、再利用・リサイクル等によりごみの減量化を進める「4R運動」を基軸として、「循環型経済都市づく

り」に寄与する普及啓発事業を推進します。また、館内の展示資料、体験内容、広報・チラシ等の改善・充実を図り、外部イベント及び地域行事に積極的に参加し、支援活動を展開します。さらに、環境問題は一人一人の問題であるとの認識に立ち、地域住民のごみ問題、環境問題等の意識啓発活動の積極的推進と、無償ボランティア「エコフレンズ」の育成充実を図り、実効あるごみ減量化への事業導入に努めます。

さらに、「体感、実感、エコのこころ」をテーマとして環境情報発信機能の強化をし、地域に愛される施設を目指します。

1. 啓発メニューの拡充
2. 周知・広報
3. 外部主体との連携
4. エコのこころを持った人づくり

(1) リサイクルに関する意識啓発活動

廃棄物の減量化及び資源の有効利用を促すため地域住民の意識啓発業務として、次の事業を行います。

① 「4R運動」の推進

廃棄物の少ない循環型社会を構築するために必要な「4R運動」を中心とし、ごみの減量化及び再利用、再資源化等の情報を整備して、住民意識の喚起を図ります。

- ・リフューズ・・・要らない物は断わり、ごみを発生させない。(発生抑制)
- ・リデュース・・・食べ残し、使い残しを無くし、有効利用を考える。(工夫して減らす)
- ・リユース・・・捨てないで生かして使う。再使用。リターナブル製品の使用。(再使用)
- ・リサイクル・・・徹底した分別排出を行い、リサイクルをし易くする。(再利用)

② リサイクル体験教室の開催

③ 啓発用展示物及びリサイクル体験コーナーの整備、充実

④ 来館者に対する啓発説明の充実

⑤ 講演会の開催

⑥ リサイクルイベントの開催

イ. ごみ・環境問題、分別排出の方法、リサイクルに関する研究や資料等の展示、講演会等の企画を主体として、リサイクルマーケット、食べ物バザー、こども遊びコーナー等を交えた、賑わいあるイベントを開催します。

ロ. 夏休み期間中に親子会を開催し、ごみや環境問題に共に触れ合い、認識を深める会を開催します。

ハ. 季節を楽しむ(正月門松作りなど)

ニ. 食材の使い切り

ホ. リメイク手づくり市の開催

ヘ. リユース市の開催

⑦エコバスツアーの実践

⑧モニターによるごみ環境家計簿の実践

(2)リサイクル情報の収集及び提供、リサイクル活動の支援に関する事業

①情報提供の充実

イ. ホームページの充実 (YouTube 公式チャンネルで施設案内、ゴミの捨て方等公開)

ロ. リファレンスプレス発行

ハ. 情報コーナーの充実 (環境問題やSDGsに関するDVD上映等)

ニ. ごみ出前講座

ホ. 幼稚園児を対象としたプログラム

②リサイクルコーナー

イ. アフターフォロー教室

ロ. 職人の技を学ぶ

③リサイクル情報の収集と提供

ごみ問題やリサイクル等に関する情報を収集、蓄積し整備を図るとともに、公社ホームページ、広報誌等を活用して情報を提供します。

イ. ごみの分別及び環境情報、リサイクルイベント情報、リサイクル家具等の情報、エコショップ情報等の整備、更新を行います。

④団体等のリサイクル行事及び地域活動の支援

公民館、地域各種団体等がリサイクル行事等を行う場合に必要な啓発パネル、リサイクル作品、研究資料等の貸出し、講師派遣等の支援を行います。

II 因幡霊場事業 (公益目的事業2)

人生終焉の場にふさわしく、管理体制の更なる充実と、健全で円滑な業務運営を図ります。

また、利用者サービスの一環として行っている喫茶・売店の運営事業、収骨室への案内、親族待合室の整理・整頓、畜類納骨・供養施設の維持管理、畜魂慰霊等についても利用者の心情に応える業務の推進に努めます。

イ. 事務員・技術員・パートタイマーの連携を密に更なる管理体制の充実を図るとともに、財務・会計管理の徹底及び効率的運用を実施します。

ロ. 人生終焉の場にふさわしい、礼節をわきまえた業務を推進します。

III 白兔グラウンドゴルフ場事業 (公益目的事業3)

東部圏域の住民福祉の増進を目的にスポーツ、レジャー施設として建設された白兔グラウンドゴルフ場は、「笑顔で応対・芝管理の徹底！」をキャッチフレーズに掲げ、高齢者の利用が多い中、笑顔と親切丁寧な応対に心がけると共に施設の保全、愛される施設づくりに邁進します。

イ. 芝等の適正管理と機械化等による自家作業への転換を推進します。

ロ. 月例大会の計画的開催と団体利用の受け入れを拡大、推進します。個人戦、フリーペア大会、男女ペア大会、団体戦を含む年14回を予定しています。大会時はスコア集計ソフトを使用し、運営の効率化とスコア集計の正確性を向上させます。

尚、この白兔グラウンドゴルフ場は昭和59年から平成8年までの13年間、鳥取県の東部圏域1市4町の一般廃棄物最終処分場でありました。処分場というイメージの払拭と、跡地の有効利用策として圏域住民の健康増進に寄与することを目的として整備され、さらに管理型処分場として、埋立物および水質が安定するまでは管理を継続する義務があり、底地では汚水の浄化施設により、定期的な水質検査やガス検査等を鳥取県東部広域行政管理組合が実施し、処分場として管理を継続してまいります。

3. 収益事業

I 因幡霊場喫茶売店事業(収益事業1)

鳥取県東部広域行政管理組合が設立した公の施設である因幡霊場において、利用者の利便向上を目的として、飲食ならびに物品の販売を行います。

II 因幡霊場畜魂供養事業(収益事業2)

鳥取県東部広域行政管理組合が設立した公の施設である因幡霊場において、動物の火葬をされた利用者の中でお骨を持ち帰ることが難しい利用者に対して、納骨と供養を行います。

4. その他事業

I 環境クリーンセンター事業(その他事業1)

選別工場では、再生資源物の良質化が要求される中であって、鉄、アルミ、ガラス、ペットボトル等の適正且つ安全な現場作業管理を徹底し、良質資源の回収を図るとともに、埋立作業についても安定処理に努めます。

また、住民に施設を公開して、「ごみの分別」についての意識啓発活動を推進します。

イ. 環境クリーンセンターの安全且つ効率的運転・管理を徹底します。

ロ. ペットボトルリサイクルセンターでは効率的運転・管理を徹底します。

ハ. 埋立処分場では適正、安全な埋立作業を実施します。

5. 管理部門(法人会計)

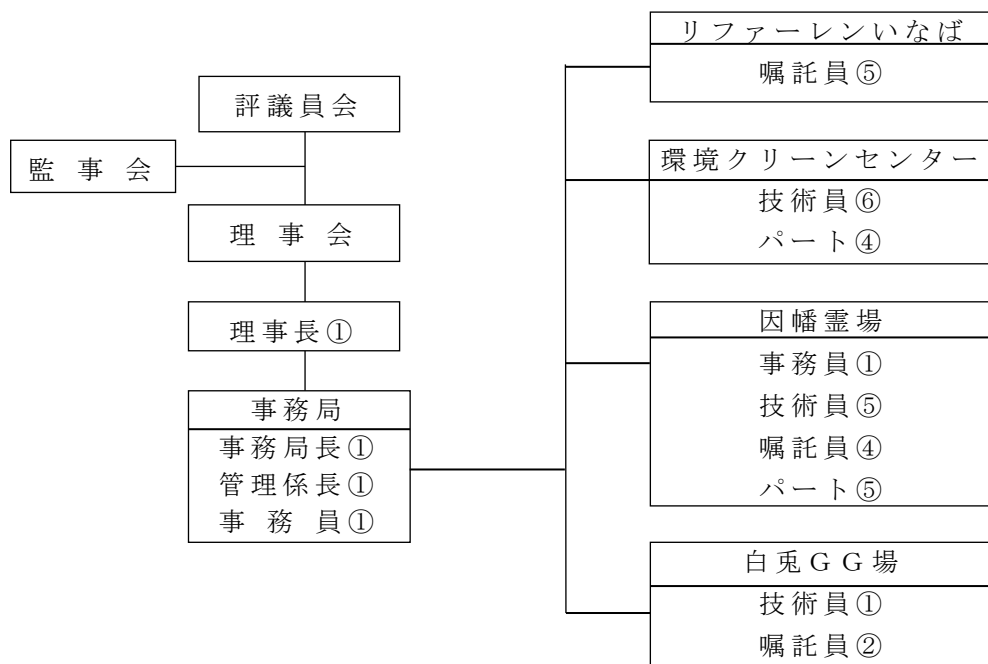
事務局を中心に、受託諸業務の適正かつ効率的な財政運営を目標とし、経営の健全化に努め、継続的に安定運営の出来る力を蓄えた、公社づくりを目指します。

(現行体制)

役職員数常勤役員1名、事務員2名、技術員11名、嘱託員13名、パート8名
計35名

<各事業と受託年月日>

リファレンスいなば	平成 9年4月1日
環境クリーンセンター	平成 9年4月1日
因幡霊場	平成10年4月1日
白兔グラウンドゴルフ場	平成12年8月1日
ペットボトル等リサイクルセンター	平成14年4月1日
食品トレー	平成15年4月1日(令和5年3月31日終了)



(令和6年4月1日予定)

令和6年度 正味財産増減書(収支予算書)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益財団法人 鳥取県東部環境管理公社

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	346,763	308,129	38,634	
指定管理料	81,538	55,312	26,226	東部広域
受託事業収入	141,378	134,475	6,903	東部広域
利用料収入	110,265	103,646	6,619	霊場、白兔GG場 利用料
喫茶売店事業収入	12,582	13,696	-1,114	
畜魂供養事業収入	1,000	1,000	0	動物納骨及び供養料
受取補助金等	0	0	0	
国受取補助金	0	0	0	
県受取補助金	0	0	0	
雑収益	863	922	-59	
雑収入	863	922	-59	
経常収益計	347,627	309,052	38,575	
(2) 経常費用				
事業費	359,809	325,730	34,079	
役員報酬	2,284	2,227	57	
支払手数料	1,148	1,148	0	
給与手当	95,801	91,946	3,855	
臨時雇賃金	19,415	15,039	4,376	
退職給付費用	20,262	1,388	18,874	退職金及び退職積立金
福利厚生費	24,236	20,953	3,283	
交際費	0	0	0	
被服費	1,521	1,407	114	
旅費交通費	1,023	910	113	
会議費	29	29	0	
食糧費	331	317	14	
通信運搬費	1,220	1,499	-279	
減価償却費	48	48	0	
材料費	484	484	0	
賄材料費	3,473	3,755	-282	
消耗什器備品費	554	308	246	
消耗品費	3,143	3,958	-815	
修繕費	27,731	36,174	-8,443	
印刷製本費	1,865	1,865	0	
燃料費	22,191	16,658	5,533	
光熱水料費	19,241	15,674	3,567	
賃借料	4,156	5,231	-1,075	
保険料	546	558	-12	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	13,651	8,716	4,935	
修繕積立費用	0	0	0	
支払助成金	0	0	0	
支払寄付金	0	0	0	

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
大会開催経費	0	0	0	
芝管理費	0	0	0	
委託費	95,165	95,147	18	
有価証券運用損	0	0	0	
雑費	291	291	0	
予備費	0	0	0	
管理費	7,666	7,096	570	
役員報酬	1,826	1,613	213	
支払手数料	832	832	0	
給料手当	2,553	1,982	571	
退職給付費用	121	500	-379	退職積立金
福利厚生費	802	367	435	
交際費	44	44	0	
被服費	104	104	0	
会議費(役員・評議員)	181	138	43	
会議費(事務局)	0	0	0	
旅費交通費(役員・評議員)	0	210	-210	
旅費交通費(事務局)	162	162	0	
食糧費(役員・評議員)	3	3	0	
食糧費(事務局)	39	39	0	
通信運搬費	165	165	0	
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	44	44	0	
消耗品費(役員・評議員)	56	159	-103	
消耗品費(事務局)	159	159	0	
修繕費	77	77	0	
印刷製本費	27	27	0	
燃料費	3	3	0	
光熱水料費	264	264	0	
賃借料	43	43	0	
保険料	67	67	0	
諸謝金	44	44	0	
租税公課	0	0	0	
支払負担金	0	0	0	
支払助成金	0	0	0	
支払利息	50	50	0	
有価証券運用損	0	0	0	
雑費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
経常費用計	367,475	332,826	34,649	
評価損益等調整前当期経常増減額	-19,848	-23,774	3,926	
当期経常増減額	-19,848	-23,774	3,926	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	-19,848	-23,774	3,926	
法人税、住民税及び事業税等	1,340	3,827	-2,487	
当期一般正味財産増減額	-21,188	-27,601	6,413	

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
一般正味財産期首残高	85,315	72,860	12,455	
一般正味財産期末残高	64,127	45,259	18,868	
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,000	10,000	0	
指定正味財産期末残高	10,000	10,000	0	
III 正味財産期末残高	74,127	55,259	18,868	